

2001 年度 工学部デザイン工学科 A コース (建築) 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TX001002	デザイン工学セミナー	2.0	1 年通期木曜 2 限	全教官	建築 3
TF064001	建築と人間の歴史	2.0	1 年前期水曜 5 限	玉井 哲雄	建築 3
TF129101	建築の構造	2.0	1 年前期月曜 4 限	全教官	建築 3
TF129201	先端建築論 I	2.0	1 年前期水曜 6 限	(中田 捷夫)	建築 4
TF065001	建築史 II	2.0	1 年後期月曜 5 限	モリス・マーティン	建築 4
TF066001	建築デザイン基礎	2.0	1 年後期水曜 3 限	(上垣内 伸一) 他	建築 4
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	建築 5
TY016002	造形演習	2.0	前期火曜 6 限	宮崎 清	建築 5
TY016003	造形演習	2.0	前期火曜 5 限	宮崎 紀郎	建築 6
TY016004	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	柳澤 要	建築 6
TY016005	造形演習	2.0	前期火曜 5 限	釜池 光夫	建築 7
TY016006	造形演習	2.0	前期火曜 5 限	瀧 徹	建築 7
TY017001	図学演習	2.0	前期火曜 2 限	永田 喬	建築 8
TY017002	図学演習	2.0	前期水曜 7 限	(大藤 晃義)	建築 8
TY017003	図学演習	2.0	1 年前期水曜 3 限	(田中 修一)	建築 9
TY017004	図学演習	2.0	後期水曜 7 限	(大藤 晃義)	建築 9
TF129301	構造力学 I A	2.0	1 年後期月曜 2 限	高梨 晃一	建築 10
TF129401	構造力学 I B	2.0	1 年後期月曜 2 限	上杉 英樹	建築 10
TF129501	構造力学演習 I A	2.0	1 年後期月曜 3 限	原田 幸博	建築 10
TF129601	構造力学演習 I B	2.0	1 年後期月曜 3 限	大山 宏	建築 11
TF069001	建築設計総合指導 I	2.0	2 年前期火曜 4 限	全教官	建築 11
TF070001	建築エスキース I	2.0	2 年前期土曜 2 限	(加茂 紀和子)	建築 11
TF130001	先端建築論 II	2.0	2 年前期木曜 6 限	(横田 暉生)	建築 12
TF071001	室内環境計画 I	2.0	2 年前期月曜 1 限	宮田 紀元	建築 12
TF072001	室内環境計画演習	2.0	2 年前期月曜 2 限	宮田 紀元	建築 12
TF073001	建築設計学	2.0	2 年前期水曜 3 限	栗生 明	建築 12
TF074001	材料力学	2.0	2 年前期水曜 1 限	大山 宏	建築 13
TF075001	材料力学演習	2.0	2 年前期水曜 2 限	大山 宏	建築 14
TF076501	建築材料	2.0	2 年前期木曜 2 限	近藤 吾郎	建築 14
TF077001	建築設計総合指導 II	2.0	2 年後期金曜 4 限	全教官	建築 15
TF078001	建築エスキース II	2.0	2 年後期土曜 2 限	(丸谷 博男)	建築 15
TF079001	都市・地域計画 I	2.0	2 年後期月曜 5 限	北原 理雄	建築 15
TF081001	建築生産	2.0	2 年後期水曜 4 限	安藤 正雄	建築 16
TF083001	構造力学 II	2.0	2 年後期火曜 3 限	村上 雅也	建築 16
TF084001	構造力学演習 II	2.0	2 年後期火曜 4 限	(中埜 良昭)	建築 16
TF086001	構造設計 I	2.0	2 年後期水曜 5 限	(桜田 智之)	建築 17
TF087001	構造設計 III	2.0	2 年後期月曜 1 限	森田 耕次	建築 17
TF089001	構造設計演習 III	2.0	2 年後期月曜 2 限	森田 耕次	建築 17
TF131001	建築数学	2.0	2 年後期火曜 1 限	前田 孝一	建築 18
TF088001	建築設計総合指導 III	2.0	3 年前期木曜 4 限	全教官	建築 18
TF090001	建築エスキース III	2.0	3 年前期土曜 2 限	(渡辺 泰男)	建築 18
TF091001	都市・地域計画 II	2.0	3 年前期火曜 1 限	福川 裕一	建築 19
TF092001	建築デザイン計画 I	2.0	3 年前期月曜 3 限	服部 岑生	建築 19
TF093001	建築デザイン計画演習 I	2.0	3 年前期月曜 4 限	服部 岑生	建築 20
TF095001	建築史 III	2.0	3 年前期月曜 2 限	モリス・マーティン	建築 20
TF097001	建築史野外演習	4.0	3 年通期集中	モリス・マーティン	建築 20
TF132001	先端建築論 III	2.0	3 年前期金曜 6 限隔週 1,3	(横堀 肇) 他	建築 20
TF098001	建築設備計画 I	2.0	3 年前期金曜 4,5 限隔週 1,3	(石渡 博)	建築 21
TF099001	室内環境計画 II	2.0	3 年前期水曜 3 限	(山田 由紀子)	建築 21

2001年度 工学部デザイン工学科Aコース(建築) シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF100001	建築生産演習	2.0	3年前期木曜2限	安藤 正雄	建築 21
TF102001	材料実験	2.0	3年前期火曜3,4限	前田 孝一	建築 22
TF103001	構造設計II	2.0	3年前期金曜2限	野口 博	建築 22
TF104001	構造設計演習II	2.0	3年前期金曜3限	野口 博	建築 23
TF106001	建築設計総合指導IV	2.0	3年後期木曜4限	全教官	建築 23
TF108001	建築エスキースIV	2.0	3年後期土曜2限	(飯沼 秀晴)	建築 23
TF110001	都市・地域計画III	2.0	3年後期火曜2限	福川 裕一	建築 24
TF111001	建築法規・行政	2.0	3年後期水曜5限	(平沢 岩機)	建築 24
TF112001	造園学	2.0	3年後期水曜4限	(油井 正昭)	建築 25
TF113001	建築デザイン計画II	2.0	3年後期木曜1限	中山 茂樹	建築 25
TF114001	建築デザイン計画演習II	2.0	3年後期木曜2限	中山 茂樹	建築 25
TF116001	建築史V	2.0	3年後期火曜5限	モリス・マーティン	建築 26
TF117001	室内環境計画III	2.0	3年後期水曜3限	(山田 由紀子)	建築 26
TF118001	建築設備計画II	2.0	3年後期金曜5限	(斎藤 満)	建築 26
TF119101	荷重・耐力概論	2.0	3年後期水曜2限	高橋 徹	建築 26
TF120001	基礎地盤工学	2.0	3年後期金曜2限	中井 正一	建築 27
TF121201	建築施工	2.0	3年後期月曜5限	(清水 四郎)	建築 27
TF122001	構造実験	2.0	3年後期火曜3,4限	原田 幸博	建築 28
TF123001	振動工学	2.0	4年前期木曜1限	村上 雅也	建築 28
TF126001	構造デザイン	4.0	4年前期木曜5限 4年前期金曜5限	(富島 誠司)	建築 28
TF127001	卒業演習	2.0	4年前期集中	全教官	建築 29
TZ041001	日本工業概論	2.0	2年前期木曜5限	東田 喜輔	建築 29
TZ042001	工業経営概論	2.0	2年後期木曜5限	東田 喜輔	建築 30
TZ021001	応用数学I	2.0	4年前期集中	(今井 仁司)	建築 30
TZ024001	複素解析演習	2.0	2年前期火曜5限	(市川 文男)	建築 31
TZ024002	複素解析演習	2.0	前期火曜5限	大形 明弘	建築 31
TG104001	アルゴリズムの設計と解析	2.0	4年前期金曜5限	(小林 暁)	建築 31
TZ050001	偏微分方程式演習	2.0	2年後期火曜5限	(島田 明)	建築 32
TZ033001	数値解析	2.0	3年前期火曜3限	(近藤 尚夫)	建築 32

授業科目名 : デザイン工学セミナー
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Design
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A0
 開講時限等: 1年通期木曜 2限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997年
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF:デザインA		専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築A	専門基礎必修 (E10)

[講義目的] デザインおよび建築を学ぶ人達を対象に、広く、勉学の方式や態度、問題意識や関心の持ち方など、受講生教官が一体となって思考する。

[講義内容]

[備考] 第一回目の授業にて受講の意志を確認し、受講生を決定する。第二回目以降の授業時間帯については、担当教官と受講生で相談の上、その都度決定する。受け入れ人数: 185人以下(1年次に限る) 課題、レポートおよびクラスにおける討論により成績評価を行う。

授業科目名 : 建築と人間の歴史 (学部開放科目)
 科目英訳名 : Architecture and Human History
 担当教官 : 玉井 哲雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0AB
 開講時限等: 1年前期月曜 5限
 講義室 : 工 19号棟 115教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TG:電子機械A	専門選択 (F30)			
TH:情報画像A	専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 日本建築史における重要な問題を取り上げる。古代～近世における寺院・神社および住宅・都市を素材とし、主にその文化的側面を、東アジアおよびヨーロッパとの比較という観点も導入し、背景となる社会的な問題を視野に入れて論じることを目的とする。説明のためのプリントやスライドを必要に応じて用いる。建築以外の文化系学生の聴講も歓迎する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 教科書「日本建築史図集」(日本建築学会編・彰国社)。参考書「建築の歴史」(中央公論社)。

授業科目名 : 建築の構造
 科目英訳名 : Structure of Buildings
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0EE
 開講時限等: 1年前期月曜 4限
 講義室 : 工 9号棟 206教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TE:都市環境システムA			専門選択 (F30)		T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			

[講義目的] 建築物は必要とされる機能が満たされる空間を創出する構造物である。その構造はどのような形をもっているか、その形はどんな断面の部材がどう接合されて作られるのか、また、それに利用される構造材料にはどんなものがあるか、材料に要求される力学的性質は何か等々、これからの建築の設計を学習するに役立つ基本的な概念を学ぶ。

[講義内容]

[教科書・参考書] 教科書「構造用教材」(日本建築学会編)・建築構造(彰国社)

授業科目名 : 先端建築論 I
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies I
 担当教官 : (中田 捷夫)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: TOEF
 開講時限等: 1 年前期水曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 建築を学ぶ者が、その学習と卒業後の進路を考えるための科目。第一線で活躍する建築技術者が技術者としての考え方、生き甲斐、学習の仕方、職業の様子などを紹介する。

[講義内容]

授業科目名 : 建築史 II
 科目英訳名 : History of Architecture II
 担当教官 : モリス・マーティン
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0AC
 開講時限等: 1 年後期月曜 5 限
 講義室 : 工 15 号棟 110 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 西洋を中心とした建築の発展過程とそれにおける主要な問題点を様式史的な観点から論ずる講義である。様式 の概念を紹介し、世界各地における建築様式の成立を述べた後、特に西洋文明に見られる様々な建築様式の興隆と没落の流れを語る。また、各々の様式の特徴と相互関係について説明する。プリントやスライドを必要に応じて用いる。

[講義内容]

[教科書・参考書] 参考書「西洋建築様式史」(熊倉洋介他、美術出版社)

授業科目名 : 建築デザイン基礎
 科目英訳名 : Basic Architectural Design
 担当教官 : (上垣内 伸一), 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0AD
 開講時限等: 1 年後期水曜 3 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)

[講義目的] 図学演習にひき続きドローイングの技法と理論についてレクチャーと基礎的なトレーニングを行い、現代建築ケースとして図面表現を学習する。

[講義内容] 鉄筋コンクリート造、木造建築などの施工図が理解出来るよう事例をコピーさせる。最終課題として自由設計も出題している。

[教科書・参考書] 建築設計製図(実教出版)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A1

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システム A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械 A	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザイン A 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A2

開講時限等: 前期火曜 6 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システム A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械 A	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザイン A 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 紀郎
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A3

開講時限等: 前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械A	専門選択 (F30)
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A4

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械A	専門選択 (F30)
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 釜池 光夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A5

開講時限等: 前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械A	専門選択 (F30)
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 瀧 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A6

開講時限等: 前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 114 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T2:建築A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T3:機械A	専門選択 (F30)
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T5:電気電子A	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TI:物質A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質A 物質化学コース	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質A 物質機能コース		専門基礎選択 (E30)				
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : 永田 喬
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A7
 開講時限等: 前期火曜 2 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	1997年 専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容]

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (大藤 晃義)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A8
 開講時限等: 前期水曜 7 限
 講義室 : 工 17号棟 212教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	1997年 専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容]

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (田中 修一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2A9
 開講時限等: 1年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	1997年 専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容]

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (大藤 晃義)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C5
 開講時限等: 後期水曜 7 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境システムA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠A	1997年 専門基礎必修 (E10)
TF:デザインA	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF1:デザインA デザインコース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザインA インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザインA メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザインA 建築コース	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容]

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 構造力学 I A
 科目英訳名 : Structural Mechanics IA
 担当教官 : 高梨 晃一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F0

開講時限等: 1年後期月曜 2 限
 講義室 : 工 9号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1996年
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)
TG:電子機械A			専門選択必修 (F20)			

[講義目的] 建築物にはそれ自身の重量と積載物の重量の他に、積雪による重量と風圧力さらには地震などによる外力と外乱が作用する。これらに対して安全な構造物を作るため、柱や梁にどのような力が作用して、どのように変形するかを知るための力学すなわち構造力学を学習する。

[講義内容]

[履修条件] 構造力学 IA と構造演習 IA は一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造力学 IB・構造演習 IB と同一であるので、構造力学 IB・構造演習 IB の履修は不要である。

授業科目名 : 構造力学 I B
 科目英訳名 : Structural Mechanics IB
 担当教官 : 上杉 英樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F1

開講時限等: 1年後期月曜 2 限
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 建築物にはそれ自身の重量と積載物の重量の他に、積雪による重量と風圧力さらには地震などによる外力と外乱が作用する。これらに対して安全な構造物を作るため、柱や梁にどのような力が作用して、どのように変形するかを知るための力学すなわち構造力学を学習する。

[講義内容] 第 1 回 講義概要、建築構造の形とその単純化、構造設計法 <p> 第 2 回 力の表現法、力の合成・分解 <p> 第 3 回 部材にかかる力(その 1: 軸力) <p> 第 4 回 部材のひずみと伸び、平面保持 <p> 第 5 回 部材にかかる力(その 2: 曲げモーメントとせん断力) <p> 第 6 回 曲げモーメントと曲率、単純梁の応力と変形 1 (支点反力、集中荷重) <p> 第 7 回 単純梁の応力と変形 2 (分布荷重) <p> 第 8 回 中間試験(力の釣り合い、反力、応力) <p> 第 9 回 片持ち梁の反力、応力と変形(剛節点、剛支点、集中荷重、分布荷重) <p> 第 10 回 静定フレームの反力、応力と変形 1 (L 形フレーム) <p> 第 11 回 静定フレームの反力、応力と変形 2 (門形フレーム) <p> 第 12 回 静定フレームの反力、応力と変形 3 (3 ピン構造) <p> 第 13 回 静定トラスにかかる力、ピン節点、ピン支点 <p> 第 14 回 静定トラスの変形(仮想仕事の原理) <p> 第 15 回 期末試験 <p>

[履修条件] 構造力学 IB と構造演習 IB は一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造力学 IA・構造演習 IA と同一であるので、構造力学 IA・構造演習 IA の履修は不要である。

[教科書・参考書] 参考書: 田中、高梨、宇田川: 建築骨組の力学(基礎編)、東洋書店 <p> 和泉正哲: 構造力学 1、培風館 など <p>

授業科目名 : 構造力学演習 I A
 科目英訳名 : Seminar on Structural Mechanics IA
 担当教官 : 原田 幸博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F2

開講時限等: 1年後期月曜 3 限
 講義室 : 工 9号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1996年
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 力の釣り合い式を用いて、建築物を支える柱・梁に生ずる応力と柱・梁の限界耐力に対する理解を深めることにある。

[講義内容]

[履修条件] 構造力学 IA と構造演習 IA は一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造演習 IB と同一であるので、構造演習 IB の履修は不要である。

[教科書・参考書] 参考書として、建築骨組の力学(基礎編): 田中・高梨・宇田川著: 東洋書店: ¥ 2680

授業科目名 : 構造力学演習 I B
 科目英訳名 : Seminar on Structural Mechanics IB
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F3
 開講時限等: 1年後期月曜 3 限
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 力の釣合い式を用いて、建築物を支える柱・梁に生ずる応力と柱・梁の限界耐力に対する理解を深めることにある。

[講義内容] 第1回 演習概要、構造力学の必要性 <p> 第2回 力の表現法、力の合成・分解 <p> 第3回 部材にかかる力(その1:軸力) <p> 第4回 部材のひずみと伸び、平面保持 <p> 第5回 部材にかかる力(その2:曲げモーメントとせん断力) <p> 第6回 曲げモーメントと曲率、単純梁の応力と変形1(支点反力、集中荷重) <p> 第7回 単純梁の応力と変形2(分布荷重) <p> 第8回 中間試験(力の釣り合い、反力、応力) <p> 第9回 片持ち梁の反力、応力と変形(剛節点、剛支点、集中荷重、分布荷重) <p> 第10回 静定フレームの反力、応力と変形1(L形フレーム) <p> 第11回 静定フレームの反力、応力と変形2(門形フレーム) <p> 第12回 静定フレームの反力、応力と変形3(3ピン構造) <p> 第13回 静定トラスにかかる力、ピン節点、ピン支点 <p> 第14回 静定トラスの変形(仮想仕事の原理) <p> 第15回 期末試験 <p>

[履修条件] 構造力学IBと構造演習IBは一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造演習IAと同一であるので、構造演習IAの履修は不要である。

[教科書・参考書] 参考書: 田中, 高梨, 宇田川: 建築骨組の力学(基礎編), 東洋書店 <p> 和泉正哲: 構造力学1, 培風館 など <p>

授業科目名 : 建築設計総合指導 I
 科目英訳名 : Architectural Design I
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0AE
 開講時限等: 2年前期火曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)

[講義目的] 初歩的な設計課題について建築的な発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーを行う。

[講義内容]

[履修条件] 図学演習、建築デザイン基礎を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース I
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design I
 担当教官 : (加茂 紀和子)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0AF
 開講時限等: 2年前期土曜 2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)

[講義目的] 初歩的な設計課題について建築的な発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容]

[履修条件] 建築設計総合指導Iと同時に履修すること。

授業科目名 : 先端建築論 II
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies II
 担当教官 : (横田 暉生)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F4

開講時限等: 2 年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 建築生産・建築技術分野をリードする技術者・研究者が、実務の世界を概説し、技術開発の最先端を紹介する。講義内容は、ハウジング、外装デザイン、建築生産と情報化の3つからなる。

[講義内容]

授業科目名 : 室内環境計画 I
 科目英訳名 : Interior Design I
 担当教官 : 宮田 紀元
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B0

開講時限等: 2 年前期月曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1995 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA			専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 室内環境に係わる計画のいくつかの側面を対象に、理論的な知識の理解を深める。多くの場合、1つの課題に対し2時限を費やし、テーマに関する建築的な意味合い、基礎的な知識、計画方法などを解説する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 特になし。演習のための資料、用紙などを配布する。

授業科目名 : 室内環境計画演習
 科目英訳名 : Seminar on Interior Planning
 担当教官 : 宮田 紀元
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B1

開講時限等: 2 年前期月曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1995 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築A	専門選択 (F30)

[講義目的] 室内環境に係わる計画のいくつかの側面を対象に、模擬的な計画作業を体験して、理論的な知識の理解を深める。多くの場合、1つの課題に対し2時限を費やし、課題に関する建築的な意味合い、基礎的な知識、計画方法などを解説した後、演習を実施する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 特になし 演習のための資料、用紙などを配布する

授業科目名 : 建築設計学
 科目英訳名 : Architectural Design Method
 担当教官 : 栗生 明
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B2

開講時限等: 2 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 我々をとりまくソフト・ハードの環境全体をどうデザインするのか、さまざまなデザイン要素を抽出し、内外の事例を紹介しながら解説する。講義にはスライドを使用し、簡易な課題を出す。

[講義内容]

授業科目名 : 材料力学
 科目英訳名 : Strength of Materials
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B3

開講時限等: 2年前期水曜1限
 講義室 : 工9号棟 106教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF:都市環境システムA			専門選択 (F30)		T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)			

[講義目的] 構造力学Iでは、簡単構造物の反力、応力(軸力、曲げモーメント、剪断力)を力の釣り合いから求めた。引き続き、材料力学では、応力により生ずる変形を考慮し、構造部材の断面内の応力度分布、構造物の変形などの基礎を主題とする。これらを基礎にして、構造力学IIでは、より実用的な骨組構造物の解析手法が与えられる。

[講義内容] 第1回 材料力学の基礎概念基本仮定・伸び・縦歪・横歪・曲げ・垂直歪・剪断歪第2回 歪と応力軸力・曲げモーメント・剪断力・垂直応力・剪断応力・モールの応力円第3回 断面の特性係数(1)断面1次モーメント・重心・断面2次モーメント・平行軸定理・断面係数第4回 断面の特性係数(2)断面極2次モーメント・断面2次半径・断面相乗モーメント・断面主軸・モールの慣性円第5回 材料の力学的性質応力-歪図・弾性限・降伏点・引張強さ・弾性係数・ヤング係数・剪断弾性係数・ポアソン比第6回 各種の応力を受ける材(1)断面内の垂直応力分布・軸力・曲げモーメント・応力の組み合わせ第7回 各種の応力を受ける材(2)断面内の剪断応力分布・長方形断面・円形断面・薄肉断面・H形断面第8回 <中間試験> 受験条件:なし。(解答レポート提出。)(教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。)第9回 梁の変形(1)撓み曲線式・弾性曲線式・共役梁法・弾性荷重法・モールの定理第10回 梁の変形(2)ミオンチスの片持梁公式の誘導・応用第11回 梁の変形(3)不静定梁・一端固定+他端ローラー・両端固定・連続梁第12回 静定トラスの応力と変形クレモナ図・ウィロー変位図・モール回転変位図第13回 静定ラーメンの応力と変形ミオンチスの片持梁公式の応用第14回 曲線材アーチ梁・曲がり梁第15回 <試験> 受験条件:なし。(後日、解答レポート提出。)(教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。)<演習ノート提出> 試験終了後に回収。後日返却。第16回 <追試1> 受験条件:なし。(なお、この時点では成績評価未了。)第17回 <追試2> 受験条件:前回まで試験の完全解答レポートの事前提出。第18回 <追試3> 受験条件:前回まで試験の完全解答レポートの事前提出。

[履修条件] 無

[教科書・参考書] [教科書] 嶋本恒雄/相川三郎 編「建築学小事典 第4版」 理工学社 1994 ¥3000 + 本書では、基本的で実用的な解法・例題などを順を追って丁寧に説明している。講義・演習では、根拠・誘導を十分説明し、学生の納得の行くまで質疑応答したい。この講義・演習での利用範囲は、わずかに(p. 3-8)~(p. 3-39)である。[参考書] 高橋幸伯・町田進 共著「基礎|材料力学 改訂版」 培風館 1999 ¥2500 + 本書の初版は、10年間、教科書として用いた。せめて序文くらいは覗いてほしい。本書では、ところどころに建築実務と異なる表現がある。その点は注意して読んでほしい。

[備考] [演習ノート] 大学ノート(B5判) 演習の評価資料。試験後提出。後日返却。ルースリーフ式・スパイラル綴じ式のノートは望ましくない。[教材] プラスチック定規2本(長さ20cm程度のもの) 単独あるいは貼り合わせて「曲げを加えて梁の変形、軸を押し柱の座屈」を実感しよう。[電卓] 数式処理・グラフ関数電卓(TI92, HP49, Casio, Sharpなど) 数学の苦手意識を克服するために電卓を使い、数学を勉学・遊びの道具にしよう。

授業科目名 : 材料力学演習
 科目英訳名 : Seminar on Strength of Materials
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B4
 開講時限等: 2 年前期水曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 構造力学 I では、簡単構造物の反力、応力（軸力、曲げモーメント、剪断力）を力の釣り合いから求めた。引き続き、材料力学では、応力により生ずる変形を考慮し、構造部材の断面内の応力度分布、構造物の変形などの基礎を主題とする。これらを基礎にして、構造力学 II では、より実用的な骨組構造物の解析手法が与えられる。

[講義内容] 第 1 回 材料力学の基礎概念基本仮定・伸び・縦歪・横歪・曲げ・垂直歪・剪断歪第 2 回 歪と応力軸力・曲げモーメント・剪断力・垂直応力・剪断応力・モールの応力円第 3 回 断面の特性係数（1）断面 1 次モーメント・重心・断面 2 次モーメント・平行軸定理・断面係数第 4 回 断面の特性係数（2）断面極 2 次モーメント・断面 2 次半径・断面相乗モーメント・断面主軸・モールの慣性円第 5 回 材料の力学的性質応力-歪図・弾性限・降伏点・引張強さ・弾性係数・ヤング係数・剪断弾性係数・ポアソン比第 6 回 各種の応力を受ける材（1）断面内の垂直応力分布・軸力・曲げモーメント・応力の組み合わせ第 7 回 各種の応力を受ける材（2）断面内の剪断応力分布・長方形断面・円形断面・薄肉断面・H 形断面第 8 回 <中間試験> 受験条件：なし。（解答レポート提出。）（教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。）第 9 回 梁の変形（1）撓み曲線式・弾性曲線式・共役梁法・弾性荷重法・モールの定理第 10 回 梁の変形（2）ミオソチスの片持梁公式の誘導・応用第 11 回 梁の変形（3）不静定梁・一端固定+他端ローラー・両端固定・連続梁第 12 回 静定トラスの応力と変形クレモナ図・ウィロー変位図・モール回転変位図第 13 回 静定ラーメンの応力と変形ミオソチスの片持梁公式の応用第 14 回 曲線材アーチ梁・曲がり梁第 15 回 <試験> 受験条件：なし。（後日、解答レポート提出。）（教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。）

[履修条件] 無

[教科書・参考書] [教科書] 嶋本恒雄/相川三郎 編「建築学小事典 第 4 版」理工学社 1994 ¥3000 + 本書では、基本的で実用的な解法・例題などを順を追って丁寧に説明している。講義・演習では、根拠・誘導を十分説明し、学生の納得の行くまで質疑応答したい。この講義・演習での利用範囲は、わずかに (p. 3 - 8) ~ (p. 3 - 39) である。[参考書] 高橋幸伯・町田進 共著「基礎 | 材料力学 改訂版」培風館 1999 ¥2500 + 本書の初版は、10 年間、教科書として用いた。せめて序文くらいは覗いてみてほしい。本書では、とどころどころに建築実務と異なる表現がある。その点は注意して読んでほしい。

[備考] [演習ノート] 大学ノート (B5 判) 演習の評価資料。試験後提出。後日返却。ルースリーフ式・スパイラル綴じ式のノートは望ましくない。[教材] プラスチック定規 2 本 (長さ 20 cm 程度のもの) 単独あるいは貼り合わせて「曲げを加えて梁の変形、軸を押し柱の座屈」を実感しよう。[電卓] 数式処理・グラフ関数電卓 (TI92, HP49, Casio, Sharp など) 数学の苦手意識を克服するために電卓を使い、数学を勉学・遊びの道具にしよう。

授業科目名 : 建築材料
 科目英訳名 : Building Materials
 担当教官 : 近藤 吾郎
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B5
 開講時限等: 2 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システムA			専門選択 (F30)	
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 今日建築材料は極めて多種多様であり、その開発技術も著しく発展しているので、建築技術者として建築材料に関する幅広い知識が必要とされる。この講義では、鉄鋼やコンクリートなどの構造材料を主な対象とするが、材料の製造者としての立場ではなく、材料の使用者の立場から必要とされる知識を習得する事を目的とする。

[講義内容] 本講義では、コンクリートや鉄鋼を含む金属材料、木材など建築構造材料として使用される材料の物理的性質を建築構造物として使用時に要求される材料力学的な性能や建築物を構築する際に要求される施工性能と関連させて、わかりやすく講述する。

[教科書・参考書] 小阪義夫他著「建築材料」、理工学社、2800円

授業科目名 : 建築設計総合指導 II
 科目英訳名 : Architectural Design II
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B6

開講時限等: 2年後期金曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)

[講義目的] 建築設計総合指導 I に引き続き建築を構想、企画し、計画を定め建築として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーを行う。

[講義内容]

[履修条件] 建築設計総合指導 I を履修していること

授業科目名 : 建築エスキース II
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design II
 担当教官 : (丸谷 博男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B7

開講時限等: 2年後期土曜 2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)

[講義目的] 建築設計総合指導 I に引き続き建築を構想、企画し、計画を定め建築として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容]

[履修条件] 建築設計総合指導 II と同時に履修すること

授業科目名 : 都市・地域計画 I
 科目英訳名 : City & Regional Planning I
 担当教官 : 北原 理雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B8

開講時限等: 2年後期月曜 5 限
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境システムA					専門選択 (F30)	
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TH1:情報画像A 情報工学コース					専門選択 (F30)	

[講義目的] 人々の生活の場である都市環境を的確に読み解き、そのあるべき姿を構想する力を身につけてもらうことが、この講義の目的である。都市空間のさまざまな特性と社会との相関、それをなりたたせている仕組みなどを、具体的な事例にもとづいて考察する。

[講義内容] 1. 建築と都市空間(街並みをつくる建築, 都市の広場, 二つの都市空間, 見える秩序と見えない秩序)
 2. 住まいと都市空間(日本の住まい, ヨーロッパの住まい, 街並みと住まい) 3. グリッド都市の空間(日本のグリッド都市, ヨーロッパのグリッド都市, 現代のグリッド都市) 4. 広場と街路(広場の伝統, 街路の文化, 人間のための都市空間) 5. 視覚空間と位相空間(地形原理と幾何学原理, 城下町の空間, 生きられる場所)

[履修条件] 都市環境デザイン(都市環境システム学科)との重複受講はできない。

[教科書・参考書] S. E. ラスマッセン: 都市と建築, 東京大学出版会(参考書). J. ゲール: 屋外空間の生活とデザイン, 鹿島出版会(参考書)

[備考] 成績評価はレポートと出席点を主体とする。

授業科目名 : 建築生産
 科目英訳名 : Building Construction
 担当教官 : 安藤 正雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B9
 開講時限等: 2 年後期水曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A			専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 住宅生産を中心に、建築生産を巡る諸問題を概説する。また、建築およびその部位の成り立ち（構法）造りかた（工法）およびそれらを統合的に取り扱う構工法計画を学ぶ。最後に、生産を運営するためのプロジェクト・マネージメントの考え方と手法を扱う。

[講義内容]

授業科目名 : 構造力学 II
 科目英訳名 : Structural Mechanics II
 担当教官 : 村上 雅也
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BA
 開講時限等: 2 年後期火曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TE:都市環境システム A			専門選択 (F30)		T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			

[講義目的] 材料力学、構造力学 I の知識をもとに、建築物の柱、梁で構成される架構（ラーメン）に積載荷重、地震荷重などが作用する場合に、その架構の特性によって、柱、梁にどのような応力が起こるかを理解させるために、たわみ角法、定点法、固定法、横力分布係数法などの解法を習得させて建築物の構造安全性を確認する構造設計法の応力解析に対する知識を深めさせる。

[講義内容] 第 1 回 構造力学 II 概説 第 2 回 構造物（ラーメン、トラス）の変形と仮想仕事 第 3 回 ラーメンの一般解法の考え方 第 4 回 たわみ角法（節点移動無） 第 5 回 たわみ角法（節点移動有） 第 6 回 定点法 第 7 回 固定法（節点移動無） 第 8 回 固定法（節点移動有） 第 9 回 中間試験 第 10 回 異形ラーメン（柱、梁の傾斜有） 第 11 回 剛性無限大を含むラーメン 第 12 回 横力分布係数法（D 値法） 第 13 回 建築物の固有周期と固有振動形 第 14 回 建築物の地震時の挙動 第 15 回 最終試験

[履修条件] 無

[教科書・参考書] 武藤清・他 著、「大学課程 建築構造力学」、オーム社 等

[備考] 大綱

授業科目名 : 構造力学演習 II
 科目英訳名 : Seminar on Structural Mechanics II
 担当教官 : (中埜 良昭)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BB
 開講時限等: 2 年後期火曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A			専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 構造力学 II の講義内容にしたがい、その理解度を深める演習である。

[講義内容] 第 1 回 部材の変形 第 2 回 構造物（ラーメン、トラス）の変形 第 3 回 支点反力 第 4 回 たわみ角法（節点移動無） 第 5 回 たわみ角法（節点移動有） 第 6 回 定点法 第 7 回 固定法（節点移動無） 第 8 回 固定法（節点移動有） 第 9 回 中間試験解説 第 10 回 異形ラーメン（柱、梁の傾斜有） 第 11 回 剛性無限大を含むラーメン 第 12 回 横力分布係数法（D 値法） 第 13 回 建築物の固有周期と固有振動形 第 14 回 復習用問題 第 15 回 最終試験解説

[履修条件] 無

[教科書・参考書] 梅村魁、伊藤勝 著、「構造解析演習」、共立出版 等

授業科目名 : 構造設計 I
 科目英訳名 : Structural Design I
 担当教官 : (桜田 智之)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BC
 開講時限等: 2年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 過去数十年にわたってわが国の大規模建築物のほとんどは鉄筋コンクリート造と鉄骨造によって建設され、木構造は、住宅建築専用の構法とする認識が定着している。この間、欧米の木構造は著しい技術革新がなされ大規模な建築物が次々と出現している。しかし、近年わが国でも木構造の新たな可能性が見直されはじめている。本講義では木構造の設計手法を通して、構造設計の導入としての基礎力を養う。

[講義内容] 1. 在来構法、2×4工法、木質パネル構法、集成材構法等の各種構法 <P> 2. 風圧力、地震力、積雪荷重に対する設計法 <P> 3. 木材資源と環境の問題、強度、比重、含水率、クリープ、ヤング係数等木材の性質 <P> 4. くぎ、ボルト、木ねじ、ラグスクリュー、メタルプレートコネクター等による接合法 <P> 5. 集成材、合板、LVL、OSB、PSL、MDF等のエンジニアリングウッドの性質と性能 <P> 6. 炭化速度、防火、菌害、蟻害、腐朽、保守等木材の耐火性と耐久性 <P>

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 木質構造建築読本 井上書院

授業科目名 : 構造設計 III
 科目英訳名 : Structural Design III
 担当教官 : 森田 耕次
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BD
 開講時限等: 2年後期月曜 1 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1995年	1996年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 鋼構造は住宅、店舗等の小規模建物、体育館、集会場、工場等の大スパン建物、並びに、事務所、ホテル、複合用途の高層及び超高層建物等に採用されている最も普及した構造形式である。本科目では、鋼構造の設計、施工に関する基礎的原理を平易に講義し、併せて、鋼構造の応用分野である複合構造についても概説する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 第3版「鋼構造設計演習」(社)鋼材倶楽部編、技報堂出版

授業科目名 : 構造設計演習 III
 科目英訳名 : Seminar on Structural Design III
 担当教官 : 森田 耕次
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BF
 開講時限等: 2年後期月曜 2 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 構造設計 III の講義に沿って鋼構造の部材及び接合部に関する演習問題を解くことにより、講義の理解を深める。

[講義内容]

[教科書・参考書] 第3版「鋼構造設計演習」(社)鋼材倶楽部、技報堂出版

授業科目名 : 建築数学
 科目英訳名 : Mathematics for Structural Engineering
 担当教官 : 前田 孝一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F5

開講時限等: 2年後期火曜1限
 講義室 : 工9号棟106教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 教養の微積分・線形代数に引き続き、建築を学ぶために必要な数学的基礎を学ぶ

[講義内容] ベクトル解析, 複素解析, 偏微分方程式

[履修条件] なし

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 建築設計総合指導 III
 科目英訳名 : Architectural Design III
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BE

開講時限等: 3年前期木曜4限
 講義室 : 工10-412製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 規模がより大きく複合的なプログラムの建築と地域のデザインを構想、企画し、計画を定め、総合的にまとめあげていく提案を作成するプロセスを学んでいく。計画に先立つ調査やプレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容]

[履修条件] 建築デザイン III、建築デザイン IV を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース III
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design III
 担当教官 : (渡辺 泰男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C0

開講時限等: 3年前期土曜2限
 講義室 : 工10-412製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 規模がより大きく複合的なプログラムの建築と地域のデザインを構想、企画し、計画を定め、総合的にまとめあげていく提案を作成するプロセスを学ぶためのデザイントレーニングをする。

[講義内容]

[履修条件] 建築設計総合指導 I・II を履修していること。

授業科目名 : 都市・地域計画 II
 科目英訳名 : City & Regional Planning II
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C1

開講時限等: 3 年前期火曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF:都市環境システム A			専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市計画とは、何を目的として、それをどのような手段で達成しようとするのだろうか。講義では、都市および都市計画がこのような課題に時代とともにどのように変わってきたのかを検討し、現在の都市計画の位置を明らかにしたい。そのために、18 世紀以降都市計画がどのように展開してきたかを検討することが中心的作業となる。なお、後期の「都市・地域計画 III」で具体的な課題への展開を行うので、あわせて受講されたい。

[講義内容] (1) 都市計画の立脚点 (4・6・10 の原則)、(2) 18 世紀のプランニング (パリとロンドンを中心に)、(3) 産業革命下の都市と都市計画思想、(4) オースマンによるパリ改造の意味とその影響、(5) 東京市区改正条例、(6) 田園都市論そして近隣住区論、(7) 近代建築家と都市計画、(8) 1919 年都市計画法と震災復興事業、(9) 1968 年都市計画法、(10) 1980 年代からの都市計画の変容、(11) 都市の課題と都市計画：ツールからシステムへ。(1 項目が 2 回にわたる場合がある)

[履修条件] 無

[教科書・参考書] 『近代日本の都市計画百年』(石田頼房、自治体研究社)、『都市にとって土地とは何か』(大谷幸夫編、筑摩書房)、『近代都市計画』(フランソワーズ・ショエ、井上書店)

[備考] 無

授業科目名 : 建築デザイン計画 I
 科目英訳名 : Architectural Planning I
 担当教官 : 服部 岑生
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C2

開講時限等: 3 年前期月曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 建築づくりのはじめの段階で、建築のデザイン条件、その技術的な条件などを、決定するのに必要な建築の計画を勉強する。デザインのためには、人間の必要とする建築の特性を明らかにし、構造・構法・材料、建築設備、および建築のマネジメントに関する知識を講義する。デザイン計画は、時代の人間の価値意識に関係しているので、環境とかエネルギーの課題、人間社会の安定に関する課題にも、触れながらこれからのデザイン計画を講義する。

[講義内容] (1) 現代の建築の技術とその課題、(2) デザインのプロセスとデザイン計画の課題、(3) 建築の敷地や地域の環境との関わりとデザイン、(4) 耐久的な建築づくりとデザイン計画の方法、(5) デザイン計画の研究の歴史、(6) 建築の空間哲学とデザイン、(7) 現代の科学的なデザイン計画の歴史、(8) デザイン計画の原理、(9) 建築の利用の仕組みとデザイン計画、(10) 建築空間の力とデザイン計画、(11) 建築デザインと環境形成、(12) アカウンタビリティ

[履修条件] 建築デザイン計画演習 I を履修すること

[教科書・参考書] 改訂建築計画 (朝倉書店)

授業科目名 : 建築デザイン計画演習 I
 科目英訳名 : Drill of Architectural Planning I
 担当教官 : 服部 岑生
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C3

開講時限等: 3 年前期月曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築デザイン計画 I の内容について、実際の建築事例から構成した課題を、講義の進行に対応し解答し練習する。

[講義内容] (1) 使用者の利用条件によるデザイン計画 (2) 現代建築のデザイン条件の特徴についての調査 (3) 建築事例のデザイン条件の評価練習 (4) デザイン計画とデザインとの関連の分析

[履修条件] 即日の演習。用具として、色鉛筆、三角定規、物差しを携行する。

授業科目名 : 建築史 III
 科目英訳名 : History of Architectural Conservation
 担当教官 : モリス・マーティン
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C4

開講時限等: 3 年前期月曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 建築史野外演習
 科目英訳名 : History of Architecture Field Seminar
 担当教官 : モリス・マーティン
 単位数 : 4.0 単位
 履修登録コード: T0C5

開講時限等: 3 年通期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 先端建築論 III
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies III
 担当教官 : (横堀 肇), (日塔 和彦)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F6

開講時限等: 3 年前期金曜 6 限隔週 1,3
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 住宅・都市再開発事業、および伝統的建造物の保存・再生事業の分野で活躍する技術者・研究者が、建築技術のみならず、対人間関係も含めた実務の世界を概説し、実際の現場を見学することによって建築の世界におけるそれらの事業の意味を考えさせる。

[講義内容]

授業科目名 : 建築設備計画 I
 科目英訳名 : Architectural Equipment I
 担当教官 : (石渡 博)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C6, T0C7
 開講時限等: 3 年前期金曜 4,5 限隔週 1,3
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 建築・都市と建築設備の関りを理解し、快適で安全な建築環境を創り出す建築設備の考え方とその計画法を習得することを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 建築環境と設備環境、第 2 回 都市設備と建築設備、第 3 回 建築・建築設備の総合計画(1)、第 4 回 同(2)、第 5 回 各設備の計画 空調・暖房・換気(1) 冷暖房負荷、第 6 回 同(2) 空気線図、第 7 回 同(3) 熱源システム、第 8 回 同(4) 冷暖房・換気システム、第 9 回 同(5) 熱の搬送システム、第 10 回 各設備の計画 給排水衛生設備(1) 水回りの約束事、第 11 回 同(2) 給水・給湯システム、第 12 回 同(3) 給水通気システム、第 13 回 各設備の計画 電気設備(1)、第 14 回 同(2)、第 15 回 試験

[教科書・参考書] 講義資料を毎回配布する。

授業科目名 : 室内環境計画 II
 科目英訳名 : Environmental Science of Architecture II
 担当教官 : (山田 由紀子)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C8
 開講時限等: 3 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 人間にとって快適な建築空間を創造するため、熱・湿気環境および空気環境に関する基礎知識を概説し、併せて建築設計への応用方法を解説する。また、空気調査衛星計画への橋渡しの役目として基礎知識に触れる

[講義内容]

[履修条件] 原則として建築学の基礎知識のある 3 年生以上

[教科書・参考書] 山田由紀子: 建築環境工学、培風館

授業科目名 : 建築生産演習
 科目英訳名 : Seminar on Building Construction
 担当教官 : 安藤 正雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C9
 開講時限等: 3 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築の物的な構成とそのプロセスの基礎を扱うとともに、それらがさまざまなコンテキストにおいてどのように組み立てられるのかを概観する。また、建築生産に関する今日的課題として、設計技術と生産技術の統合、産業構造の変化と技術の変化との関連等について触れる。

[講義内容]

授業科目名 : 材料実験
 科目英訳名 : Experiments of Building Materials
 担当教官 : 前田 孝一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CA, T0CB

開講時限等: 3 年前期火曜 3,4 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室, 工 建築学科 実験室, 工 9 号棟 107 教室, 工 建築学科 実験室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] J I S で定められた建築材料の主要な試験方法を講義ならびに実験実習を通じて、学ぶ。

[講義内容] 建築材料の機械的性質, 熱的性質, 物理化学的性質, 耐久性等。

[履修条件] なし

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 構造設計 II
 科目英訳名 : Structural Design II
 担当教官 : 野口 博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CC

開講時限等: 3 年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 本講義では、鉄筋コンクリート構造の基本的な原理および設計方法を学ぶ。鉄筋をコンクリート中に何故埋め込んで、しっかり定着させなければならないのかという鉄筋コンクリートの常識から、構造設計の考え方、さらには建物の構成部材である柱、はり、床スラブ、耐震壁などの設計法を学ぶ。

[講義内容] 第 1 回 1. 1 鉄筋コンクリート構造を自分で構造設計するためには何を勉強しなければならないか? <P> 1. 2 鉄筋コンクリート構造の構造設計の流れ <P> 1. 3 鉄筋コンクリートの常識 <P> a コンクリートと鉄筋の強さ <P> b 鉄筋を何故入れるのか? <P> c 鉄筋は曲げモーメント図のでる側に入れよ。 <P> 第 2 回 d せん断力によってもコンクリートに引張力が生ずる。 <P> e 鉄筋はよく定着しておくこと。 <P> f 鉄筋コンクリートはよく付着していなければならない。 <P> 第 3 回 2. 1 鉄筋コンクリート部材を設計するにあたって <P> 2. 2 使用するコンクリートと鉄筋の強度 <P> 2. 3 鉄筋量の求め方に関する基本的な考え方と許容応力度 <P> 第 4 回 2. 4 はり主筋量の求め方 <P> 第 5 回 <P> 第 6 回 2. 5 使用する鉄筋径および鉄筋本数は適当に決めてはならない。 <P> 第 7 回 <P> 第 8 回 2. 6 柱主筋量の求め方 <P> 第 9 回 2. 7 はり、柱部材のせん断補強筋(あばら筋、帯筋)の求め方 <P> 第 10 回 <P> 第 11 回 2. 8 床スラブと小ばりの設計 <P> 第 12 回 2. 9 耐震壁の設計 <P> 第 13 回 2. 10 基礎の設計 <P> 第 14 回 3. 2 次設計の概要 <P> 第 15 回 テスト <P>

[教科書・参考書] 田中礼治著「鉄筋コンクリートの構造設計入門 - 常識から構造計算まで - 」相模書房

授業科目名 : 構造設計演習 II
 科目英訳名 : Seminar on Structural Design II
 担当教官 : 野口 博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CD
 開講時限等: 3 年前期金曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 本演習では、簡単な鉄筋コンクリート構造建物の構造設計を実際に自分の手で体験しながら、構造設計 II の講義内容を更に深く理解することを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 鉄筋コンクリート構造の基礎知識 <P> 第 2 回 建築物の概要 <P> 設計方針 <P>
 使用材料と許容応力度、材料強度 <P> 第 3 回 構造計画、設計ルート <P> 第 4 回 断面仮定と
 剛比算定 <P> 第 5 回 荷重、外力 <P> 鉛直荷重時応力算定 (固定荷重、積載荷重) <P> 第 6
 回 水平荷重時応力算定 (地震力、風圧力) <P> 第 7 回 大梁の断面算定 <P> 主筋の算定 <P>
 第 8 回 あばら筋の算定 <P> 付着の検討 <P> 第 9 回 基礎梁の断面算定 <P> 小梁
 の断面算定 <P> 第 10 回 柱の断面算定 <P> 主筋の算定 <P> 第 11 回 帯筋の算定 <P> 第 12
 回 スラブの設計 <P> 第 13 回 基礎の設計 <P> 第 14 回 耐震壁の設計 <P> 第 15 回 2 次設計 <P>
 層間変形角、剛性率、偏心率、保有水平耐力 <P>

[履修条件] 構造設計 II を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 構造計算書で学ぶ鉄筋コンクリート構造: 上野嘉久著、学芸出版

[備考] 毎回、レポートを提出すること。また電卓を準備すること。

授業科目名 : 建築設計総合指導 IV
 科目英訳名 : Architectural Design IV
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CE
 開講時限等: 3 年後期木曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1995 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[講義目的] プログラムのより複雑で高度な建築のデザインを構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげていく提案を作成する。計画に先立つ調査やプレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容]

[履修条件] 建築デザイン III、建築デザイン IV を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース IV
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design IV
 担当教官 : (飯沼 秀晴)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CF
 開講時限等: 3 年後期土曜 2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1995 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[講義目的] プログラムのより複雑で高度な建築のデザインを構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげていく提案を作成するためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容]

[履修条件] 建築設計総合指導 I・II・III を履修していること。

授業科目名 : 都市・地域計画 III
 科目英訳名 : City & Regional Planning III
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D0
 開講時限等: 3 年後期火曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 「都市計画とは何か」を基本テーマに近代都市計画の歴史をたどった「都市・地域計画 II」に続いて、この講義では、より具体的に、現代の都市計画の課題をとりあげて、その課題が生ずる背景やメカニズム、それに対する都市計画としての考え方や解決方法を検討していく。講義は、全 4 冊からなる絵本『ぼくたちのまちづくり』を紹介し、1 冊ごとにそれに係わるテーマを 3~4 回にわたって取り上げるという方法で進める。

[講義内容] (1)『ぼくたちのまち・世界のまち』、(2) 建築と都市: 個の成立と全体への参加、(3) 町並み保存: 何をなぜどのように保存するのか、(4)『商店街を救え』、(5) 商店街の成立と衰退 (6) 都市はなぜ成長するか?、(7) 人口の基礎理論と予測、(8)『都市へ自然をとりもどせ』、(9) 土地利用計画と規制、(10) ケーススタディ [三番瀬]、(11) 交通計画の考え方と手法、(12)『楽しいまちをつくった』、(13) ゾーニングとマスタープラン、(14) 住宅問題と住宅政策、(15) 町づくりを担うのは誰か?

[履修条件] 無

[教科書・参考書] 参考書:『ぼくたちのまちづくり』(福川裕一、岩波書店)、『パターン・ランゲージ』(C. アレキサンダー、鹿島出版会)、『地域モデル入門』(W. ヘイラー、アグロウヒル好学社)、『ゾーニングとマスタープラン』(福川裕一、学芸出版)

[備考] 無

授業科目名 : 建築法規・行政
 科目英訳名 : Architectural Regulation and Administration
 担当教官 : (平沢 岩機)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D1
 開講時限等: 3 年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 実務に就いて建築物の設計、施工等をする場合、あるいは街づくり等に係わる場合、様々な法規制があることに気づかされることとなります。この授業では、建築行政上から見た問題点等を解説するほか、建築基準法を中心にして、建築士法、都市計画法、消防法等の概要を含めて解説することにより、関係する法の全体像を理解してもらうことを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 建築行政・建築法規とは 第 2 回 営繕行政に係わる問題等 第 3 回 住宅行政に係わる問題等 第 4 回 建築基準法に関すること(以下同じ)・体系、目的等 第 5 回 建築確認制度・建築士法概要等 第 6 回 構造方法に関する技術的基準等 第 7 回 構造計算の基準等 第 8 回 屋根、外壁、耐火建築物、設備等 第 9 回 耐火構造、防火区画等 第 10 回 避難施設、内装制限、消防法概要等 第 11 回 都市計画法概要等 第 12 回 敷地と道路、用途制限等 第 13 回 建ぺい率、容積率等 第 14 回 高さ制限、日影規制、地区計画、建築協定等 第 15 回 工作物、工事中の安全等

[教科書・参考書] 教科書: 講義録 <p> 参考書: 建築法規用教材(日本建築学会編・丸善発売) <p> 基本建築基準関係法令集

授業科目名 : 造園学
 科目英訳名 : Landscape Architecture
 担当教官 : (油井 正昭)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D2

開講時限等: 3年後期水曜 4 限
 講義室 : 工 9号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF:都市環境システムA				専門選択 (F30)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 人間生活の発達とともに、快適な生活空間を創造することを意図した社会の動向として、庭園、都市の公園・緑地、自然公園など様々な造園空間が創出され発達してきた。これらの造園空間誕生の背景、造園空間の発展過程、造園空間の特性、造園空間創造技術の概要などに関する基礎理論と技術の修得を目的とする。

[講義内容] 第1回 造園空間の発生と分化 1. 庭園の発生、2. 広場の発生 第2回 3. 公園の誕生 第3回 4. 都市公園の成立、5. 自然公園の成立 第4回 わが国の造園空間の発達と特徴 1. 風景式庭園・築山泉水式庭園の成立 第5回 2. 大規模庭園の発達 第6回 3. 禅宗の影響と庭園芸術 第7回 4. 露地庭の完成 5. 回遊式庭園の完成と庭園の普及 第8回 都市の緑地空間 1. 園成立の経緯と背景 第9回 2. 市公園の制度成立と特徴 第10回 3. 災復興公園の特徴 4. 市のオープンスペースと機能 第11回 5. 都市公園の種類と配置 第12回 6. 都市公園の機能と役割 第13回 自然景観の保護と利用 1. 自然公園の風景保護 第14回 2. 自然公園の公園利用 第15回 テスト

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 造園技術大成(関口監修)養賢堂、緑の計画(福富・石井編)地球社、造園学(高橋・井手他)朝倉書店、造園の事典(田畑・樋渡編)朝倉書店、ランドスケープ体系第1巻~第5巻(日本造園学会編)技法堂出版

授業科目名 : 建築デザイン計画 II
 科目英訳名 : Architectural Planning II
 担当教官 : 中山 茂樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D3

開講時限等: 3年後期木曜 1 限
 講義室 : 工 9号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 建築計画の理論と手法について解説し、さらに現代の建築(特に公共建築)に求められてさまざまな最新の要求に、計画がどのようにアプローチし、解決しているかについて、研究例や設計例をもとに考える。

[講義内容]

[履修条件] 原則として建築デザイン計画Iを履修済みで、建築デザイン計画の基礎を理解していること。建築デザイン計画演習IIと同時に履修すること。

[教科書・参考書] 未定

授業科目名 : 建築デザイン計画演習 II
 科目英訳名 : Drill of Architectural planning II
 担当教官 : 中山 茂樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D4

開講時限等: 3年後期木曜 2 限
 講義室 : 工 9号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築デザイン計画IIの内容について、実際の建築計画の課題から作られた問題を、講義の進行に対応して解決する演習を行う。実際の建築見学を含む。

[講義内容]

[履修条件] 建築デザイン計画IIと同時に履修すること

授業科目名 : 建築史 V
 科目英訳名 : History of Architecture V
 担当教官 : モリス・マーティン
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D5
 開講時限等: 3 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] ヨーロッパ建築の発展過程の主要な問題点に関する連続講義の後半である。本講義は、古代様式建築の復活を目指した、15世紀イタリアにおけるルネサンス建築を出発点とし、マニエリズム、バロック、そしてクラシックとゴシック・リヴァイヴァルに至る系譜とそれを拒絶したモダニズムの出現を含む、近世・近代ヨーロッパ建築をテーマにしている。他の文化圏におけるヨーロッパ建築の影響も副テーマとして取り上げている。テキストは用いず、スライドとプリントで説明する。

[講義内容]

授業科目名 : 室内環境計画 III
 科目英訳名 : Environmental Science of Architecture III
 担当教官 : (山田 由紀子)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D6
 開講時限等: 3 年後期水曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1995 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システムA				専門選択 (F30)	T2:建築A	専門選択必修 (F20)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 環境工学の内、音環境を騒音防止計画と建築音響計画に分けて概説する。光環境に関しては、採光計画から照明計画までを解説する。劇場や美術館などの実例をスライドで提示したり、テープで実際の音を聞くことを体験してもらい、建築との関わりを理解できるようにする。

[講義内容]

[履修条件] 原則として、建築学の基礎知識のある3年生以上

[教科書・参考書] 教科書 山田由紀子：建築環境工学、培風館。参考書 前川 純一：建築・環境音響学、共立出版

授業科目名 : 建築設備計画 II
 科目英訳名 : Architectural Equipment II
 担当教官 : (斎藤 満)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D7
 開講時限等: 3 年後期金曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築電気設備の役割と基礎・計画知識、建築の設計・施工との接点などについて講義する。また、ビル内の主要な搬送設備であるエレベータ・エスカレータの仕組みと計画手法、地球環境問題とこれに関連する建築設備の省エネ手法についても講義する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 教科書；自作の資料を使用する。参考書；電気設備学会「建築電気設備の計画と設計」。

授業科目名 : 荷重・耐力概論
 科目英訳名 : Introduction to loads and resistance on buildings
 担当教官 : 高橋 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D8
 開講時限等: 3 年後期水曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

[講義目的] 日本は四季に恵まれている。逆にいうと建築物には苛酷な環境である。本講義では雪・風・地震など、日本に多発する外乱を、その発生メカニズムとランダム性を含めて概観するとともに、それをどのように建築物に作用する荷重・外力として評価し、これに耐える建築構造をどう設計するかを講義する。

[講義内容]

授業科目名 : 基礎地盤工学
 科目英訳名 : Foundation Engineering
 担当教官 : 中井 正一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D9
 開講時限等: 3年後期金曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TF:都市環境システムA				専門選択 (F30)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 全く空中に浮いた建築物が無いことから分かるように、建物と地盤を切り離して考えることはできない。したがって、建物が安全であるためにはその建物がどのような地盤の上に建てられているかを把握することが大切である。この講義では、まず地盤の性質を理解し、ついで建物と地盤の接点である基礎構造について学ぶ。なお、授業では、理解を助けるために必要に応じて簡単な演習問題を出題する。

[講義内容]

[履修条件] 材料力学を履修していることが望ましい

[教科書・参考書] 山肩邦男：建築基礎工学、朝倉書店

授業科目名 : 建築施工
 科目英訳名 : Construction Practice
 担当教官 : (清水 四郎)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DA
 開講時限等: 3年後期月曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 生産行為として捉えた、建築設計から施工への流れと繋がり、及び建築施工の概観を学ぶ。単に施工の知識や技術の習得だけではなく、設計行為に続き、実体を造る行為としての施工の有り様について理解を図る。施工行為の実態の理解を助けるため、できる限り工事記録等のビデオを活用すると共に、現場見学を取り入れる。

[講義内容] 第 1 回 建築生産における設計と施工の関係 <p> 設計と施工の役割分担、及び設計から施工への流れと繋がりを理解する。 <p> 第 2 回 建築の生産システムと契約方式 <p> 発注者、設計者、工事監理者、施工者の関係と役割、及び請負方式を理解する。 <p> 第 3 回 日本の建設産業と建設業 <p> 日本経済における建設産業の規模と役割、及び建設業の実態について理解する。 <p> 第 4 回 工事の受注までの流れ <p> 営業、現場説明、質疑応答、見積り、決済、入札、契約までの流れを理解する。 <p> 第 5 回 施工準備と施工計画 <p> 着工時の社内外への諸手続き、諸官庁への申請、現地調査、及び施工計画を理解する。 <p> 第 6 回 仮設工事 <p> 仮設工事の役割と工事内容、及び仮設工事の考え方を理解する。 <p> 第 7 回 基礎・地下工事 <p> 山留め工事、杭工事、土工事、地業工事の相互関係と、地下工事の要点を理解する。 <p> 第 8 回 躯体工事 (1) <p> 主に在来工法での、躯体工事の基礎的な施工方法と管理方法を理解する。 <p> 第 9 回 躯体工事 (2) <p> 躯体構築の新工法(工業化工法)について、発展の背景と工法の特徴を理解する。 <p> 第 10 回 仕上げ工事 (1) <p> 仕上げ工事の施工の流れとその特徴、及び施工管理の手法について理解する。 <p> 第 11 回 仕上げ工事 (2) <p> 工種別仕上げ工事の要点を理解する。 <p> 第 12 回 設備工事 <p> 建築施工における設備工事の概要と、建築工事との関連について理解する。 <p> 第 13 回 建築の品質保証とアフターサービス <p> 建築工事における品質保証の考え方と体制、及びアフターサービスの実態を理解する。 <p> 第 14 回 現場見学 <p> 建設途中の建物や仮設物、働く職員や労働者等を通して、造ることの実態を観る。 <p> 第 15 回 試験 <p> 資料等の持ち込み、参照を許可する。但し、共同利用は厳禁。 <p>

[履修条件] な し

[教科書・参考書] 特になし。毎回、講義プリントを配布する。

授業科目名 : 構造実験
 科目英訳名 : Experiments of Structural Engineering
 担当教官 : 原田 幸博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DB, T0DC
 開講時限等: 3 年後期火曜 3,4 限
 講義室 : 工 19 号棟 115 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 構造力学 I と材料力学および構造力学 II などの講義及び演習で学んだ建築構造の基本的な原理について実際に体験してもらう。何種類かの構造モデルについて、試験体の設計・製作・実験結果の予測・実験の遂行と考察・発表までを一貫して、少人数による班編成ごとに行うことを通じて、講義や紙上の演習だけでは得難かった感覚を身につけてほしい。

[講義内容]

[履修条件] 構造力学 I と材料力学および構造力学 II を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 日本建築学会：構造入門教材ちからとかたち，日本建築学会

授業科目名 : 振動工学
 科目英訳名 : Engineering Vibration
 担当教官 : 村上 雅也
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DD
 開講時限等: 4 年前期木曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 振動工学が建築物の構造設計法の中でどのように使われているかを、また過去の地震のスライドを使ってその重要性を理解させた後、地震動の特性および建物と地盤を対象としたモデル化とその特性について習得させ、さらに建築物の地震時の挙動のシミュレーション解析（地震応答解析）と耐震設計法の知識を深めさせる。

[講義内容] 第 1 回 振動工学概説第 2 回 地震と耐震設計法第 3 回 地震動と建築物の振動概説第 4 回 建築物のモデル化と振動方程式第 5 回 1 自由度系の自由振動第 6 回 多自由度系の自由振動第 7 回 定常的な変位や力による強制振動第 8 回 モーダルアナリシスと刺激関数第 9 回 周波数領域の地震応答解析（伝達関数、フィルタ等）第 10 回 時間領域の地震応答解析（線形加速度法等）第 11 回 ねじれ振動第 12 回 連続体の振動第 13 回 地震動の特性と波形解析第 14 回 地震応答解析と耐震設計法第 15 回 試験

[履修条件] 無

[教科書・参考書] 参考書： 多治見宏 著、「建築構造講座 17 建築振動学」、コロナ社 等

授業科目名 : 構造デザイン
 科目英訳名 : Structural Design
 担当教官 : (富島 誠司)
 単位数 : 4.0 単位
 履修登録コード: T0DE, T0DF
 開講時限等: 4 年前期木曜 5 限 / 4 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 建物に想定される荷重外力（地震力・風力等）を決定し、これらの作用によって生じる架構骨組の応力変形を算定して断面を設計する。設計された架構の保有する耐力を求め、荷重外力に勝ることを確認する。

[講義内容] 1．鉄筋コンクリート構造：課題説明、架構登録
 2．鉄筋コンクリート構造：構造計画についての講義、仮定断面提出
 3．鉄筋コンクリート構造：中間チェック
 4．鉄筋コンクリート構造：中間チェック
 5．鉄筋コンクリート構造：中間チェック
 6．鉄筋コンクリート構造：中間チェック
 7．鉄筋コンクリート構造：図面チェック
 8．鉄筋コンクリート構造：講評会
 9．鉄骨構造：課題説明、架構登録
 10．鉄骨構造：仮定断面提出
 11．鉄骨構造：中間チェック
 12．鉄骨構造：中間チェック
 13．鉄骨構造：中間チェック
 14．鉄骨構造：図面チェック
 15．鉄骨構造：講評会

[履修条件] 構造系講義を受講しておくことが望ましい。

[教科書・参考書] 特になし。構造系講義で用いられた教科書・参考書で十分。

授業科目名 : 卒業演習
 科目英訳名 : Graduation Seminar
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E0

開講時限等: 4 年前期集中
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 日本工業概論
 科目英訳名 : Introduction to Japanese Industries
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2AF

開講時限等: 2 年前期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境システムA	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)				T8:画像A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF4:デザインA 建築コース	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	TD:画像B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TG:電子機械A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)						
TH1:情報画像A 情報工学コース	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像A(画像材 画像材料工学コース	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像A(画像 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					

[講義目的] 日本の工業及び工業技術の現状を欧米と比較すると共に第二次世界大戦後、日本企業が目覚ましい発展をすることができた要因を分析し、その強さの秘密や日本企業の特異性等を明らかにすることにより、外国人留学生が日本の企業や工業技術について理解を深め、将来、母国の産業や工業技術の発展に尽くしたり日本の企業で働く場合に役立つことを想定して講義する。

[講義内容] 日本の企業の形態と特徴及び現代日本の工業技術発展の背景について概説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）の発展の経緯とその要因について解説する。また、生産コスト、労働生産性、製造技術のレベル及び製品の品質や多様性等について、日本企業の国際競争力の比較を行う。更に、日本企業の技術革新、生産技術と生産現場の合理化、従業員の勤労意識、労務管理等について解説し、日本企業の強さの秘密を明らかにする。なお、講義では、理解を深めるため、ビデオ及びOHPを多用する。

[履修条件] 特になし。

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料(プリント)を配布する。参考書は、講義中に随時指示する。

授業科目名 : 工業経営概論
 科目英訳名 : Introduction to Industrial Administration
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B0

開講時限等: 2年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境システムA	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)				T8:画像A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF4:デザインA 建築コース	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	TD:画像B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TG:電子機械A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)						
TH1:情報画像A 情報工学コース	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像A(画像材 画像材料工学コース)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像A(画像 画像システム工学)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					

[講義目的] 主に、外国人留学生を対象にして、工場の経営や管理を行う場合に必要となる工業経営に関する基本的な知識や考え方及び日本式経営の特徴等を理解し、工業経営に対して何が重要であることを認識してもらうことを目的として講義を行う。また、工場の経営者、管理者あるいは彼らのスタッフとして、直面すると思われる採算的意志決定等を合理的に行う基礎的手法や考え方を身に付けるための演習を行う。

[講義内容] ・工業経営に必要な基礎知識として、経営組織、企業の本質と企業理念・目的・方針等、資本と資産、利益、製造原価及び財務諸表の見方、経営分析等・経営管理の基本理念及び経営戦略・計画・統制 ・日本の経営の特徴・生産管理の体系、工程管理、生産計画 ・品質管理及び統計的品質管理手法・品質保証体制及び製品検査 ・原価管理及び生産の合理化と生産性 ・QC及びTQC活動 ・資材管理、在庫管理等の説明及び演習

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料(プリント)を配布する。参考書は、講義中に適宜紹介する。

授業科目名 : 応用数学 I
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I
 担当教官 : (今井 仁司)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2AA

開講時限等: 4年前期集中
 講義室 : 未定(工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境システムA	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	T4:情報A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)								
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TG:電子機械A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH:情報画像A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH1:情報画像A 情報工学コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像A(画像材 画像材料工学コース)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像A(画像 画像システム工学)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容]

授業科目名 : 複素解析演習
 科目英訳名 : Seminar on Complex Analysis
 担当教官 : (市川 文男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2AB

開講時限等: 2 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)			
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度		
	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 複素解析演習
 科目英訳名 : Seminar on Complex Analysis
 担当教官 : 大形 明弘
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2AC

開講時限等: 前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)			
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度		
	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : アルゴリズムの設計と解析
 科目英訳名 : Design of Algorithms and Optimization
 担当教官 : (小林 暁)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T176

開講時限等: 4 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] コンピュータソフトウェア、アルゴリズムの重要性、さらにそれらの社会での必要性を解き、デ - タ検索などの基本的なアルゴリズムのほか、いくつかの応用アルゴリズムを講義する。

[講義内容] オリエンテーション。プログラムの基礎。アルゴリズムの計算量。デ - タの検索アルゴリズム。整列アルゴリズム。最適化アルゴリズム。文字列デ - タの照合などに関するアルゴリズム。グラフのアルゴリズム。高度なアルゴリズム。応用アルゴリズム。

授業科目名 : 偏微分方程式演習
 科目英訳名 : Seminar on Partial Differential Equations
 担当教官 : (島田 明)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B1

開講時限等: 2 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室, 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)			
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 数値解析
 科目英訳名 : Numerical Analysis
 担当教官 : (近藤 尚夫)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2AE

開講時限等: 3 年前期火曜 3 限
 講義室 : 未定(工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TF1:デザインA デザインコース	専門選択 (F30)				T3:機械A	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像A		選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	
					TA:機械B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
					TD:画像B		選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	

[講義目的] 自然科学・工学の分野で発生する諸問題を数学的に定式化して求めようとする際必須となる, 基本的な数値計算の常識及び典型的な一般的手法について学ぶ。

[講義内容]